



## 総合的な学習の時間（命に関わる仕事についての授業）への協力



埼玉地方協力本部朝霞地域事務所（所長 澤谷3陸佐）は、12月16日、埼玉県三郷市立瑞木小学校において総合的な学習の時間への協力をを行った。

本協力は、学校からの依頼に基づき、「命に係わる仕事」の授業として継続的に行われているものであり、今回は、6年生62名が参加した。

生徒達は、自衛隊の活動についてのDVDを視聴した後、装具の装着体験、ミニ制服の試着、南極の氷の展示説明等を体験して自衛隊の役割や必要性について理解を深めた。特に、装備や制服を着て、友達同士で

写真を撮ったり、南極の氷に耳を近づけ、プチプチと氷が溶ける音を聞いたり、終始楽しそうに授業を受けていた。参加した生徒達からは、「自衛隊の仕事が理解できた。」「自衛隊の大切さが分かった。」などの声が聞かれた。

埼玉地本では、自衛隊の理解促進のため、引き続き総合的な学習の時間への協力を積極的に取り組んでいく。

